

二天山車祭

特別展

長浜祭・祇園祭・高山祭



洛中洛外図屏風(部分) 大阪城天守閣蔵



鳳凰山図 本館蔵



高山山王祭礼行列絵巻 複製(部分) 乗駒高山まちの博物館蔵

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM
曳山博物館
ON THE CROSSROAD OF OTEMON ST. AND HAKUBUTSUKAN Ave.

長浜曳山まつり
Nagahama Hikiyama Festival

令和2年(2020)
3月8日(日)
会期中無休
開館時間 午前9時～午後5時
(入館は閉館の30分前まで)
入館料 大人600円 小中学生300円
(団体20名様以上2割引)
※長浜市・米原市・小中学生は無料
主催 公益財団法人長浜曳山文化協会
展示説明会 令和2年2月1日(土)
会場 鬼山博物館展示室
時間 午後1時半より
参加費 入館料(申込不要)

特別展

二天山車祭

長浜祭・祇園祭・高山祭



祇園祭山鉾図 立命館大学アート・リサーチセンター蔵



八阪新地ねり物番附 大阪城天守閣蔵

「長浜曳山祭の曳山行事」が登録されました。これは、全国の「山・鉾・屋台行事」33件の一つとして指定されたものです。

この33件のうち長浜曳山祭は、京都祇園祭・岐阜高山祭と共に、「日本三大山車祭」として有名です。

今回の特別展は、ユネスコ無形文化遺産登録三周年記念として、特別に「三大山車祭」の各祭礼の絵巻や屏風などの関連資料や模型などを公開します。

祇園祭は、その起源が平安時代にまでさかのぼり、御靈信仰の流行によって始まった御靈会が始まりです。山鉾が登場するのが南北朝時代で、隆盛になるのが安土桃山時代で豊臣秀吉が寄与しています。祇園祭は、都市的な夏祭りとして祇園祭・天王祭の名で各地に伝播し、山車屋台を繰り出す祭礼の原型になつたのです。

また高山祭は、秀吉の家臣である

金森長近が飛騨国を平定したのちに始まつたと伝えられています。江戸時代中期には、屋台の原型は江戸から伝播し、

飾金具や絡繹人形は京都から流入したと伝え、東西文化の融合によって19世紀前半には高山型という独自の形態を生み出しました。

そして長浜曳山祭は、秀吉が長浜城主時代に始まり、江戸時代後期には現在の

様な豪華絢爛な曳山

となりました。

三大山車祭の

絵画・人形・模型

などを通して、

長浜曳山祭

が祇園祭や

高山祭に匹敵する祭礼で

あることを再認識して頂ければ幸いです。



八幡神樂台模型
飛驒高山まちの博物館蔵



初代三番叟人形・衣装
三番叟組藏



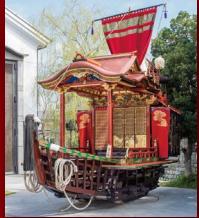
石橋台からくり人形(旧)
石橋台組藏



長浜曳山祭 曳山の展示

実物の曳山をご覧いただけます。
(2021年長浜曳山祭に出場する曳山)

しょうじょうまる
猩々丸



長浜唯一、
船形の曳山

げつきゅうでん
月宮殿



亭(2階部分)
が美しい

*本来は「壽山」が公開されますが、修理中のため「月宮殿」が収蔵されています

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBUTSUKEAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号



[TEL] 0749-65-3300

[FAX] 0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

入館料

	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	【障がい者手帳の提示で本人と介護者1名】

*長浜市・米原市の小中学生は無料

■ 9時～17時 (入館は16時30分まで)

■ 休館日: 年末年始 (12月29日～1月3日)

